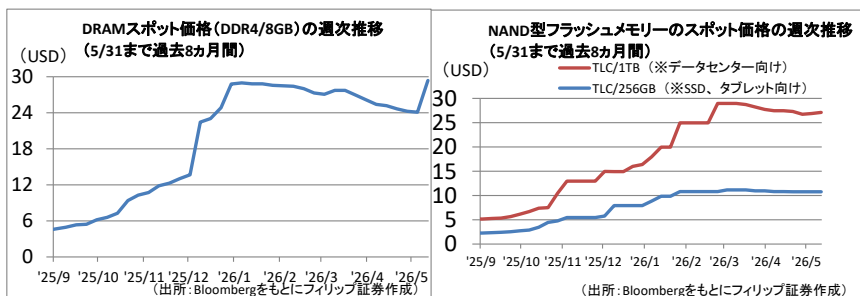


”半導体メモリー世界 4 位の CXMT が上海科創板上場へ“

中国の半導体メモリー企業が相次いで IPO (新規株式公開) に向かっている。DRAM で中国最大手・世界 4 位の長鑫メモリー・テクノロジーズ (CXMT) は 5/27、上海証券取引所の科創板 (STAR) への上場承認を取得した。上場に伴い少なくとも 6900 億円相当額を調達する計画であり、中国本土では 2022 年以来最大の IPO となる見通しだ。同社は赤字が続いていたが、AI (人工知能) ブームに伴う世界的な DRAM 需要の高まりを背景に 2026 年 1-3 月期の売上高は前年同期比 8.2 倍の 508 億元、純利益は前年同期の▲15 億元から 247 億元へ黒字化した。

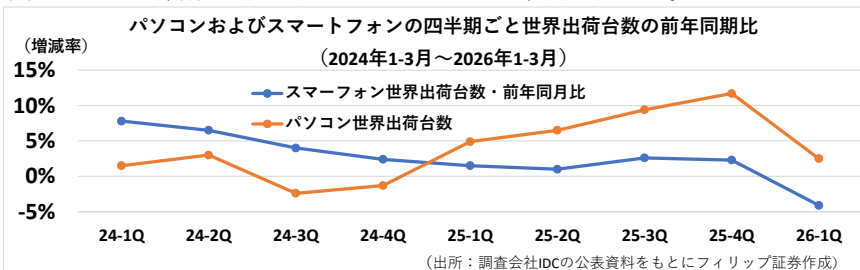
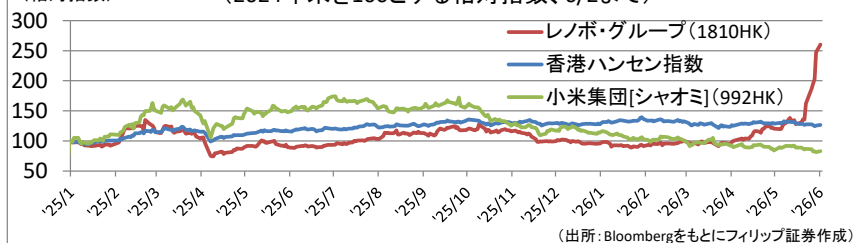
その他にも、中国最大のフラッシュメモリーメーカーの長江存儲科技 (YMTC) もここ数カ月の間で上場に向けて動いている。



”半導体メモリー市況高騰を受けたシャオミとレノボの 1Q“

半導体メモリー市況高騰は中国スマートフォン大手の小米集団 [シャオミ] (992HK) の業績を圧迫している。同社が 5/26 に発表した 2026 年 1-3 月期決算は、売上高が前年同期比 11% 減の 991 億元、純利益が同 57% 減の 47 億元と、7 四半期ぶりの減収、2 四半期連続の減益となった。メモリー高騰で採算が取りにくくなった中低価格帯の製品を絞り出荷台数は 19% 減となった一方、値上げにより平均単価が 8% 上昇したが、台数減を吸収できなかった。米調査会社 IDC によると、1-3 月のスマホの世界出荷台数は前年同期比 4.1% 減っていた。シャオミのほか OPPO (オッポ) など低価格帯を強みとしてきた中国スマホ企業は厳しい状況が続くようだ。

パソコン世界最大手のレノボ・グループ (1810HK) が 5/22 に発表した 1-3 月期決算は、売上高が前年同期比 27% 増の 215 億 USD、純利益が前年同期に金融資産の評価損を計上した反動もあり同 5.8 倍の 5 億 2100 万 USD。IDC によればレノボの 1-3 月のパソコン出荷台数は 9% 増と業界全体 (2.5% 増) を大きく上回ったほか、同期間の世界シェアは 1.4 ポイント上昇の 25.2% へ高まった。1-3 月のパソコン出荷台数がスマホと比べて相対的に堅調だったのは、半導体のメモリー不足や価格上昇を見越した在庫確保の動きが広がったことが主な要因であり、今後は値上げを余儀なくされて出荷数が減少するのではないかと観測が根強い。

香港ハンセン指数、レノボ・グループ、シャオミの株価日次終値推移
(2024年末を100とする相対指数、6/2まで)ハンセン指数またはハンセンテック指数構成銘柄
(全100銘柄)における終値の昨年末来騰落率

前回基準日: 20260519 基準日: 20260602

順位	2025年末来騰落率・上位10銘柄	(%)	前回順位
1	联想集团 [レノボ・グループ]	187.0	3
2	華虹半導体 [ファホン・セミコンダクター]	99.1	1
3	新鴻基地産發展 [サンフンカイ・プロパティーズ]	36.0	2
4	長江和記実業 [シーケー・ハチソンHDS]	35.2	4
5	無錫藥明康德新藥開發 [ウーシー・アプテック]	33.2	9
6	華潤置地 [チャイナ・リソースランド]	32.9	7
7	中国海外發展 [チャイナ・バースランド・インベスト]	32.7	8
8	創科実業 [テクトロニック・インダストリーズ]	30.8	6
9	中国海洋石油 [CNOOC]	28.5	10
10	中国石油天然氣 [ペトロチャイナ]	28.3	5

順位	2025年末来騰落率・下位10銘柄	(%)	前回順位
100	中升控股 [チョンサン・グループ・ホールディングス]	-46.0	99
99	Tencent Music Entertainment Group	-43.5	100
98	地平線机器人 [ホライズン・ロボテクス]	-36.3	97
97	Tongcheng Travel Holdings [同程旅行控股]	-33.5	95
96	金蝶國際軟件集團 [キングディー・ソフトウェア]	-32.4	98
95	携程旅行網 [トリップドットコムグループ]	-29.7	96
94	JD Health International Inc (京東健康)	-28.3	93
93	小米集団 [シャオミ]	-24.6	89
92	阿里健康信息技術 [アリババヘルス・インフォメーション・テクノロジー]	-24.4	88
91	Kuaishou Technology (快手)	-23.4	91

(出所: Bloomberg をもとにフィリップ証券作成)

【2026年5・6月: 中国主要経済指標】

- 5月23日 (土)
 - ・4月対外直接投資<前年同月比>: 前回▲7.3%、結果▲10.3%
- 5月27日 (水)
 - ・1-4月工業利益<前年同月比>: 前回+15.5%、結果+18.2%
- 5月31日 (日)
 - ・5月製造業購買担当者景気指数 (PMI): 前回50.3、結果50.0
 - ・5月非製造業購買担当者景気指数 (PMI): 前回49.4、結果50.1
- 6月1日 (月)
 - ・5月 (RatingDog) 製造業PMI: 前回52.2、結果51.8
- 6月3日 (水)
 - ・5月 (RatingDog) サービス部門PMI: 前回52.6、結果54.4
- 6月7日 (日)
 - ・5月外貨準備高: 前回3.410兆USD
- 6月9日 (火)
 - ・5月貿易収支: 前回+848.2億USD
 - ・5月輸出<前年同月比>: 前回+14.1%
 - ・5月輸入<前年同月比>: 前回+25.3%
- 6月10日 (水)
 - ・5月消費者物価指数 (CPI) <前年同月比>: 前回+1.2%
 - ・5月卸売物価指数 (PPI) <前年同月比>: 前回+2.8%
- 6月9日 (火)～15日 (月)
 - ・5月資金調達総額: 前回15.45兆元
 - ・5月新規人民元建て融資: 前回8.59兆元
 - ・5月マネーサプライM2<前年同月比>: 前回+8.6%
- 6月16日 (火)
 - ・5月小売売上高<前年同月比>: 前回+1.2%
 - ・5月鉱工業生産<前年同月比>: 前回+4.1%
 - ・1-5月不動産投資<前年同月比>: 前回▲13.7%
 - ・1-5月固定資産投資<前年同月比>: 前回▲1.6%
 - ・5月住宅販売面積<前年同月比>: 前回▲15.7%
 - ・5月調査失業率<前年同月比>: 前回5.2%
 - ・5月新築住宅価格<前月比>: 前回▲0.19%
- 6月22日 (月)
 - ・1年ローン・プライムレート: 前回3.00%
 - ・5年ローン・プライムレート: 前回3.50%

(出所: Bloomberg をもとにフィリップ証券作成)

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会認定アナリスト、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考としてレポートの作成者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害について、フィリップ証券も、当レポートの作成者も、責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載することを禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく表示>

・フィリップ証券または本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。